

市議会各会派の意見概要（2024.7/25～29）

- ・明石市の財政状況に関する資料（第1回・資料4、第2回・資料1～2）等を基に提出された主な意見の概要です。
- ・個別の表やグラフ等についての説明の追加や表現方法の見直しに関する意見などは省略しています。

分類	意見概要
1 白書の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・白書の策定目的を明確化すべき ・今後の課題と必要な費用を示すべき ・企業の事業計画書のような位置付けであるべき
2 対象	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生を含む一般市民にしてほしい ・すべての人を対象にするのは困難。中高生には財政白書ではなく、学校の先生が学校教育の場で教えればよい ・障害を持った方や子どもが見ても分かりやすいものにしてほしい（点字版、音訳版、別冊版など）
3 全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版を作成し、詳細版は概要版の根拠資料となるようにすべき
4 これまでの財政状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識や興味・関心がない方からすると理解が進まない ・家計簿に例える発想はよいが他市事例を参考により分かりやすくすべき、掲載は決算状況の冒頭がよい ・扶助費がすべて法令に基づいて支出される印象を与える表現は避けるべき ・貸借対照表の資産をもう少し詳細に記載し、明石市の資産を可視化すべき ・市民の懸念事項（インフラ整備費用を子育て支援に回しているなど）に関するデータを示すべき ・子育て施策の実施⇒人口増加⇒税収増加の好循環を実現したと広報されてきたが、これは事実なのか（個人市民税の増加は全国平均レベル、固定資産税は法人分が含まれている） ・これまで明石市が進めてきた施策とその効果を正しく評価し、前向きなものにしてほしい
5 これまでの取組・今後の人口推計・収支見通し	<p><財政健全化推進計画・公共施設配置適正化計画に基づくこれまでの取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現計画の検証が必要であり、計画に掲げた取組と実績を並べて説明すべき ・受益者負担の適正化など、計画で掲げながらも具体的な取組に至らなかった項目を明記すべき ・土地の売却益を含めて基金残高の改善と表現することに違和感がある ・現在の財政状況は、財政健全化推進計画の取組によるものか、その他の要因によるものか、偶然の産物なのかを知りたいという声がある <p><今後の人口推計・収支見通し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の推計に人口ピラミッドを追加してビジュアル化すべき ・人口を維持しなければ市民にどのような影響があるのかの説明がない ・人口増加による歳入・歳出への影響額を可視化してほしい（例、夫婦と子供2人の子育て世帯） ・マネジメントの視点から市の人口推計を使用することが望ましい

	<ul style="list-style-type: none"> ・収支見込みは、アッパー・ミドル・ボトムのどの数字を出すのかによって結論が変わってくるが、どのようなメッセージを出そうと考えているのか ・公共施設配置適正化計画（次期計画）が分からない中で、収支見込みは作れないのではないか ・市民病院、卸売市場、旧市民図書館の整備にかかる負担額を盛り込むべき ・事業所税がなくなる（人口が30万人を下回る）場合も想定すべき ・投資的経費50億円の中身を詳しく述べるべき ・財政にどれだけの余裕があり、どれくらいの新規事業を実施できるのかを記載すべき
6 目標・今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基金残高についての市の指標や考え方を示してはどうか ・基金と市債の将来予測と将来負担比率の視点が重要である ・財政白書の計画期間がR7～ではなくR6～となっている理由を説明すべき ・市内部の財政運営に関する項目だけでは先細りとなるので、市全体の活性化を視野に入れた取組方針を示すべき ・「SDGs未来安心都市・明石」の三本柱である環境、経済、社会の観点が見落しているのではないか ・昼間人口の流入や雇用創出のための施策を商工会議所との連携強化で行う視点を入れるべき ・人口維持をするための具体的な施策を財政白書に記載し、進捗状況を継続的に記載すべき ・今後の収支見込みを毎年度作成し公表する方針は評価できる ・大規模事業や新たな施策を実施する前に、個別に収支予測を提示して市民の理解を促してはどうか ・市の今後の舵取りについての市長の意見を記載してほしい
7 デザイン・表現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「結局どうなのか？」ということを端的に伝えられるよう工夫してほしい ・1つの項目に対して最初に結論を述べた方がよい ・マンガ、イラストや図表などを活用してできる限り見やすくしてほしい ・「難しいものを難しく説明するのは簡単」という声がある ・行政用語はできる限り平易な表現に、行政用語でしか表記できない場合は解説が必要 ・聞き慣れない言葉や専門用語にはフリガナを振った方がよい ・ユニバーサル配色への配慮を
8 策定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでつくる財政白書」と言いながらほとんどの市民が参画しておらず、興味を持っていないのでは
9 発信・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・動画 ・ケーブルテレビで解説チャンネル ・キーワードで検索できる「デジタル（Web）版」 ・オープンデータ化 ・水道事業を載せないのであれば、水道局が作成している「よくわかる決算書」とリンクを貼るべき